

第2回

かべ新聞コンテスト

応募総数：296 作品

たくさんのご応募ありがとうございました。

一般財団法人環境清正財団

かべ新聞コンテスト

『EXCITING! 下水道新聞』

鳥取県 米子市立福生西小学校 4 年生

橋澤 歩実

下水道のことを知ってもらうため、色々な情報を順序立てて表している。また読者が読みやすいよう文字、イラスト、写真の配置や色彩が工夫されている。Q&A による地元の下水処理場の紹介や筆者の下水道に対する思いで締めくくられていて大変完成度の高い作品である。

一般財団法人環境清正財団 代表理事 伊藤 岩雄

[illegible]

第2回

かべ新聞コンテスト

審査員特別賞

『つづけ！下水道管新聞』

千葉県 柏市立第六小学校 4年生

城間 逢佑

■ 審査委員講評

下水道管で紙面を分割しているように見え、実は管で内容がつながっている点、家庭を出発した下水が処理場で浄化され放流されて終わるのではなく、再び水道として使われるという、下水始発の水循環を描いている点が良い。

東洋大学情報連携学部
教授 花木 啓祐



第2回

かべ新聞コンテスト

優秀賞

『教えて！下水道新聞』

宮城県 仙台市立将監中央小学校 4年生
加藤 碧

■ 審査委員講評

全体に水をイメージさせる色やデザインを施し、統一感がある。「水のじゅんかん」の欄は、文字の説明を分かりやすくするため、数字を使ってイラストに対応させるなど、読者に配慮したつくりになっている。

神奈川新聞 クロスメディア営業局
コンテンツプロデュース部

宮城県 仙台市立将監中央小学校 4年生

■ 審査委員講評

神奈川新聞 クロスメディア営業局
コンテンツプロデュース部



第2回

かべ新聞コンテスト

優秀賞

『ニュース下水道新聞』

静岡県 磐田市立大藤小学校 4年生
山田 真子

■ 審査委員講評

自分の興味を引いた、下水道に関する話題をランキング形式で紹介しているところがユニーク。特に2位の下水道管は、イラストでその大きさを表現し、筆者の驚きを伝えるとともに、読者の目を引くよう工夫している。

神奈川新聞 クロスメディア営業局
コンテンツプロデュース部

静岡県 磐田市立大藤小学校 4年生
山田 真子

自分の興味を引いた、下水道に関する話題をランキング形式で紹介しているところがユニーク。特に2位の下水道管は、イラストでその大きさを表現し、筆者の驚きを伝えるとともに、読者の目を引くよう工夫している。

下 水道 お そ う い ロ ボ ッ ト が す で い

ニュー ス

下 水 道

リビッ クリ 下 水 道 が 人 の 大 き さ で す。 下 水 道 は 一 番 小 さ い も の で は 一 三 セン チ メー ト ル、 一 番 大 き い も の で は 一 メー ト ル の も の ま で い る で す。 下 の え を 見 て く だ さ い。 二 十 セン チ メー ト ル の も の は か わ い い サ イ ズ。 こ の 大 き さ は 十 メー ト ル の は、 一 二 かい だ て の 家 が ま る ま る 一 つ た て ら れ る 大 き さ で す。 び り り だ す ね。

二 かい だ て の し ゅ ー 入 る 大 き さ



ひ 生 物、 人 が 中

何 を い う か 人 な り 一 二 かい だ て の し ゅ ー 入 る 大 き さ

お ま た せ し ま し た。 お ま ち か ぬ 第 一 任 は 水 せ じ り 場 の ヒーロー 生 物 で す。 び 生 物 は 見 え な い く ら い 小 さ い 怪 だ け ど よ く 食 べ ま す。 び 生 物 の つ は 人 は、 な ト と ゴ ミ で す。 び 生 物 が 小 さ な ゴ ミ を パ パ ク と 食 べ て 水 を さ れ い に そ つ じ し て く れ ま ち 人 の 取 れ な い 小 さ な ゴ ミ を 食 べ て く れ る び 生 物 は 下 水 し ゅ ー 場 の ヒーロー な の で す。 こ れ を 読 ん で く れ た み な さん。 あ り が と う ご ざ い ました。 こ れ を よ ん で 下 水 道 や 下 水 し ゅ ー 場 に つ い て し ゅ ー たら う れ し い で す。 よ ん で く れ て あ り が と う ご ざ い ました。 こ れ で お わ り ま す。

よ ん で ほ し い な

第2回

かべ新聞コンテスト

優秀賞

『下水道学習新聞』

新潟県 新発田市立二葉小学校 4年生

4班 代表 菅原 大雅

■ 審査委員講評

下水道の役割、流してはいけないもの、クイズなど豊富な情報を、時に箇条書きを使って読みやすくしている。すっきりした色使いの見出し、ワンポイントのイラスト、記事の配置などデザインにも工夫を凝らしている。

神奈川新聞 クロスメディア営業局
コンテンツプロデュース部

